

授業科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ	科目コード	2401018		
開講クラス	動物看護師学科	コース	動物看護師コース	学 年	1年
担当教員	川越 瞳				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 動物病院にて5年、動物の診療補助、看護に従事				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	62 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1 単位	
使 用 テキスト 1	書 名				
	著 者				
	出版社				
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標></p> <p>動物の飼養管理に関する基本的な取り扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。</p> <p>実際に動物の飼養管理をすることにより、種類の特徴を知り、基本的行動様式、アニマルウェルフェアの国際基準「5つの自由」を遵守した飼育法を理解する。そして動物の心身の健康の保持に努める。また、繰り返し実践することで動物の観察力を養うとともに、他の人と協力して飼育作業を行う協調性を身につける。</p>					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>①動物の状態を観察する目を持つように、又、摂取カロリーや栄養バランス、安全な散歩のテクニックなどを学ぶ。健康管理面では投薬や保定などの技術の習得も目標とする。</p> <p>②健康管理、飼い主教育に必要な知識の習得を目指す。</p> <p>③グループ作業の実施により、チームで働く上での心構えや協調性を養う。又、服装、及び時間厳守など社会人として最低限必要を守る意識を育てる。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>別紙①参照</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <p>愛玩動物学</p>					

授業科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅰ
-------	--------------

2H/ 回	授 業 内 容	備 考
1	事前準備	
2	飼育時の留意点	
3	協同で質の高い飼育を目指す①	
4	協同で質の高い飼育を目指す②	
5	協同で質の高い飼育を目指す③	
6	協同で質の高い飼育を目指す④	
7	協同で質の高い飼育を目指す⑤	
8	協同で質の高い飼育を目指す⑥	
9	協同で質の高い飼育を目指す⑦	
10	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す①	
11	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す②	
12	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す③	
13	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す④	
14	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す⑤	
15	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す⑥	
16	動物福祉を意識し質の高い飼育を目指す⑦	
17	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す①	
18	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す②	
19	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す③	
20	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す④	
21	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す⑤	
22	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す⑥	
23	正確性と迅速性を意識し質の高い飼育を目指す⑦	
24	チームを意識した高い飼育を目指す①	
25	チームを意識した高い飼育を目指す②	
26	チームを意識した高い飼育を目指す③	
27	チームを意識した高い飼育を目指す④	
28	チームを意識した高い飼育を目指す⑤	
29	チームを意識した高い飼育を目指す⑥	
30	チームを意識した高い飼育を目指す⑦	
31	チームを意識した高い飼育を目指す⑧	